

梅中学校だより6

平成30年8月31日

校長 袴田 雅代

梅の香り

暑い暑い夏休みが終わり、本日から前期後半が始まりました。

災害的な「猛暑」は、少しずつ落ち着いてきているものの残暑はまだまだ続きそうです。水分の補給や休息、そして強い身体をつくる「栄養」と「睡眠」に気を付けて、本日から元気に学校生活を再スタートしましょう。

エアコンがつかまりました！～試運転をしました～

8月24日は全校登校日でした。各教室では、久しぶりに会ったクラスメートと笑顔で会話が弾みました。そして一番の変化は、「涼しい～」とエアコンの涼しい風を感じながら笑顔でおしゃべりする生徒たちの姿です。

「涼しいでしょ?!」と尋ねると、「涼しい～」と笑顔で応えてくれました。中には、廊下と教室を行ったり来たりしながら、「涼しい～」とエアコンの効き具合を確認する生徒の姿も。夏休み中に行われた部活動や学習会で、既にエアコンの効いた教室を体感した人もいましたが、多くの生徒が「涼しい教室」を味わった全校登校日となりました。



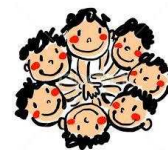
「何かお手伝いしますか！」

8月下旬のある日の朝、いつものように学校に向かうため茅ヶ崎駅の改札を出ました。学校は夏休み中ですが、世の中はお盆休みも終わり出勤する人で溢れていました。人混みに流されるように改札を出て、人の流れに沿って階段の方に押し流されて行こうとした時です。白杖を手に左右に回る人が視界に入りました。人波の中で方向を失ったのでしょうか？白杖を手に初めて一人で外出してきたのでしょうか？

私は人波に流されながら戻ることもできず階段を降りて、いつもの路を学校に向かって進みました。心の中で、「何かお手伝いしますか！」の一言を言えなかった自分に悔しさを感じながら歩きました。

以前、遅延し込み合った電車の中で、白杖を持つ男の子が困っていたことがありました。日常と違う登校状況となり、自分の立っている場所や電車から降りる扉の位置が分からなくなり困っていたのです。周囲の人を押しよけるようにして「何かお手伝いしますか？」と尋ねると、「降りる扉を教えてください」との返事。慌てて周りに聞こえるように「彼は、次の駅で降りるので扉まで誘導してあげてください！」と言いました。先に降りる私に「有難うございました」と男の子の爽やかな声。続いて「次で降ろすから安心して！」との女性の声に送られて私は電車から降りました。

この日も、誰かが手伝ってくれたかも知れない、実は困っていなかったのかも知れない。真実は分かりませんが、手伝いを必要としているかも知れない人がいたら、自分が「何かお手伝いしますか！」と爽やかに声をかけ行動できる人でありたい、と思った出来事でした。



「茅ヶ崎地区中学校総合体育大会」終了！

～たくさんの「夏の思い出」と「感動」を有難う！～

8月26日（日）・28日（火）、柳島スポーツ公園で行われた「陸上」が終わり、夏の大会が全て終了しました。3年生が中心となって大会・コンクールを盛り上げ、練習の成果を存分に発揮してくれました。大会に出場した選手は、みんなの応援にこたえようと力の限りを尽くしました。また、部員全員が一丸となって最後まで仲間を応援し続けました。賞状やカップを手にした部活動ばかりではありませんが、一つ一つの試合を振り返ると、たくさんの感動をもらいました。うれし涙も、悔し涙も、これからの皆さんの「路」を切り拓く、大きな力になります。いつも応援してくれた家族や友達、そして地域の方々に感謝の気持ちを忘れずにしましょう。

保護者・地域の皆様、あたたかな応援をありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。